平成28年度第3回東海村文化財保護審議会 会議録

| <u> </u> | | | |
|-------------|---------|--------|---|
| 1 | 催 日 | 時 | 平成28年9月26日(月) 10:00~11:30 |
| 2 場 | · • | 所 | 役場205会議室 |
| 3 出 | 席 | 者 | 文化財保護審議会委員5名(3名欠席) 教育委員会 6名 |
| 公 4 非 | 開 又 別 の | は 別 | 公開 |
| 5 議 | ÷; | 題 | 1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 茨城県指定文化財に係る調査候補について (2) (仮称) 歴史と未来の交流館整備実施計画に ついて 4 閉 会 |
| | | | (1) 茨城県指定文化財に係る調査候補について ○県指定文化財候補の照会が茨城県文化課からあった。事務局では、公有地化しボランティアも組織されている「石神城跡」を県指定文化財の候補として推薦したい。 → 佐竹氏関連の城の中でも石神城は手が加えられておらず、かなり保存状態が良い。また文書等の史料もある。石神城跡を推薦することで異論はないということで、審議会で意思決定したい。 |

- (2)(仮称)歴史と未来の交流館整備実施計画について
- ○東海村文化財保護審議会専門委員会において検 討している(仮称)歴史と未来の交流館整備実施計 画の中間報告が出された。以下委員の主な意見。
- ・「資料」と「史料」は「資料」で統一したほうが 良い。
- ・歴史と自然, ということで自然という言葉も入れて欲しい。
- ・倉庫は大切だと思うが、民具・農機具がかなり場所をとってしまう。収蔵場所の検討が必要。
- ・「民衆」という問題も大切である。生活がどうで あったかということが入るとよいと思う。
- ・人づくりや組織づくりが大切である。
- ・研究を積み重ねていくということは大切。それを 特別展示でもできればよい。ただつくって物を置け ばいいわけではない。どのように活用して、研究し ていくか。村民に親しまれるような、動く博物館が 大切なわけで、まるごと博物館という考え方はいい と思う。